

「奪われるために生まれる命」なんてない。
犬も、猫も、人も、幸せに過ごせる世の中へ。



犬 はおよそ1万5千年前、猫は9千年前から、人と暮らしていたとされています。野生動物だった犬と猫は、人間社会に溶け込んで、今や人間社会の中でしか生きていけない存在となりました。

人間社会で生きている以上、人同士でトラブルがあるように、犬や猫と人の間にもトラブルが生まれます。散歩マナー、野良猫、捨て犬・捨て猫…。そのようなトラブルのしわ寄せであり、好ましくない象徴となっているのが、殺処分というシステムです。

犬と猫の殺処分。この問題は、特定の誰かを責めれば解決するものではありません。人間社会が作り出した責任として、社会全体で解決する必要があります。犬と、猫と、人。それぞれが幸せに過ごすために、今自分ができることは何か、考えてみませんか。

Stand up and act now.

奪われるために
生まれる命
犬と猫の殺処分を減らす
終